



<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

# 元気UP アップ通信

下関市長の部屋

検索



対戦相手の秋田市の穂積市長とインターネット  
電話でエール交換 (5月16日 下関市役所)

## スポーツでひともまちも楽しく 元気アップ！ 「チャレンジデー」に初参加！

「チャレンジデー」とは、毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツなどの身体活動を行った住民の「参加率(%)」を競い合う住民参加型のスポーツイベントです。敗れた場合は、対戦相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚するというユニークなルールがあります。

市民の誰もが、いつでもどこでも気軽にそれぞれの体力や年齢、目的に応じてスポーツを楽しむことで、市民の健康増進や体力向上を図り、「スポーツでひともまちも楽しく元気アップ!」するために今回初参加し、2回目の参加となる秋田県秋田市と対戦しました。結果は、下関市の参加率25.4%参加者数6万9150人に対し、秋田市が参加率33.5%参加者数10万5969人と8.1%差で残念ながら敗れました。今後この「チャレンジデー」を生涯スポーツのきつ

かけくりとするため、来年も「チャレンジデー」に参加し参加率アップを目指し、市民の健康づくりに取り組んでまいります。

今年度からスロージョギング®を生涯スポーツ推進の新規事業として取り組んでいきます。

スロージョギング®とは、歩くスピードとほぼ同じペースでゆっくり走ることです。年齢を問わず誰でも、ちょっとしたこつを覚えるだけで、ニコニコ笑顔で走るることができます。歩くことに比べて運動強度が高いため、スロージョギング®の消費エネルギーはウォーキングの約2倍になり、スロージョギング®が身に付けば、減量やメタボ対策、生活習慣病の予防や改善、がん予防、脳機能やメンタルヘルス(精神衛生)の改善にも効果が表れるといわれています。

7月17日(日)には下関陸上競技場でスロージョギング®セミナーを開催します。(市報6月号10頁参照)講師は、スロージョギング®の提唱者である福岡大学医学博士田中宏暁教授です。

皆さん、一緒に楽しく健康づくりをしましょう。

## しものせきナビ vol.68

行って! 学んで! 博物館!

### オランダ商館長御用船 下関入澳図

下関市立歴史博物館蔵



オランダ商館長が江戸参府に用いた御用船(拡大)



本図は、江戸時代後期の下関海峡の景観を見事に表現した絵画史料です。海峡に多くの船がひしめくなか、ひととき目を引く色鮮やかな三色旗を掲げた船が入港しています。オランダ商館長が江戸参府に用いた御用船です。船旗はオランダ東インド会社を示します。円い水平線は、この船が航行してきた玄界灘、その手前に与次兵衛ケ瀬と巖流島が見え、対岸には九州の山々が連なっています。

画面下方は下関の景観で、町家や蔵が建ち並び、家々の梅花が香り、人々にぎわっています。中央にある立派な構えの屋敷は、オランダ宿で名高い西南部町の佐甲家です。オランダ宿は阿弥陀寺町の伊藤家と交互に務めました。この年は佐甲家が当番のようです。画面下にはフランス語(当時の国際語)とオランダ語で日本の領土長門国下関の港の景色」と記されています。

長崎出島から陸路をたどった商館長は、別便の御用船と下関で合流し、幔幕が張られた先頭の大きな船「日吉丸」に乗船して瀬戸内海を旅しました。御用船には将軍への献上品が積まれました。

作者や来歴は不明ですが、その画風や画題のオランダ語表記、本図が平成初期にヨーロッパで発見されたことから、商館長一行が随行の長崎派画人に制作させ、母国に持ち帰ったものと推察されます。